

## ●福部未来学園児童と「江戸時代後期～昭和初期の農業体験」イベント

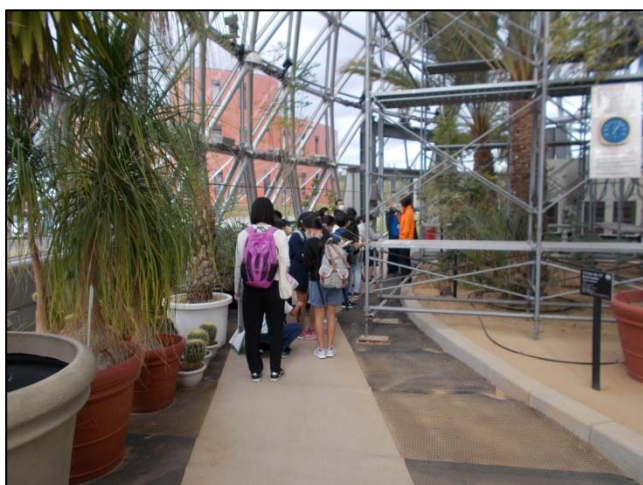
福部未来学園 5年生児童 18人と「砂丘乾燥地研究センター見学」「福部町湯山地区に残る川戸で足踏み水車体験と川船漕ぎ体験」をしました。

[日時]： 2020年10月15日（木曜日）

[場所]： 砂丘乾燥地研究センター・福部町浜湯山の川戸

[内容]： 鳥取市市民まちづくり事業助成金・とりぎん青い鳥基金助成・ごうぎん鳥取文化振興財団助成金で福部未来学園の特別教科「みらい」の郊外学習イベントをしました。

砂丘乾燥地研センターの学習の様子



## 川戸の「足踏み水車体験」の様子



●NHKの動画ニュースと日本海テレビ動画ニュースで紹介されました。



NHKテレビ動画ニュース



日本海テレビ動画ニュース

●日本海新聞と読売新聞で紹介されました。

ト(米子市公会堂)▽同26

# 足踏み水車体験

## 地元千拓地の農業学ぶ

来童 未来学 福部園

鳥取市福部町の地形の変遷や歴史を学ぶ授業が15日、同町湯山であった。福部未来学園の5年生18人が、江戸後期から昭和初期の水田作業に使われた足踏み式水車や川船乗りを体験。水路を整備し、千拓地の農業を支えた先人の知恵と労苦に思いをはせた。

同校の独自教科「みらい」の探究学習の一環。昨年、地元住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会」(飼牛明代表)と共同で作った歴史読本を活用し、地域の産業や歴史など興味を持ったテーマを深掘りする。

飼牛代表(72)が、多鯨ヶ池の東にあった湯山池は江戸時代に鳥取砂丘の砂で埋め立てられ、50秒の水田に生まれ変わった経緯を説明。道路網がなく、農業用

「本紙HPに動画」

児童らは、集落の水路で水のくみ上げ作業に挑戦。竹ざおで体を支えながらゆっくり水車を回すと水が流れ出し、大きな歓声が上がった。田中ひな乃さん(10)は「自転車をもぐように足を動かしたらうまく回せた。福部の農業の歴史をもっと知りたい」と話した。(野木絢)



地元住民に教わりながら、足踏み式水車で水のくみ上げ作業に挑戦する児童。15日、鳥取市福部町湯山

# 農業 難しく楽しい

## 鳥取の小5が作業体験

鳥取市立福部未来学園小の5年生18人が15日、同小近くの水田などで江戸後期



足で踏むようにして水車を回す児童(鳥取市で)

昭和初期に地域で行われていた農作業を体験した。子どもたちに地域の伝統や文化への理解を深めてもらおうと、同小の探究的な学習を進める特設教科の一環として実施。住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会」が、同小などと協力して作った地域の歴史などに関する冊子を活用した。

児童は木製の水車(直径

約1・5メートル)に乗って、足踏みするようにして水車を回らせ、水路から田んぼに水を送り込んだほか、竹ざおで川舟のかじ取りに挑戦。その後、多鯨ヶ池と浜湯山をつなぐ地下水路を見学するなどした。

西岡心汰君(11)は「見ためより難しかったけど、楽しかった」と笑顔。同委員会の飼牛明委員長(72)は「地元のことを隅々まで知って、地元愛を育んでほしい」と話していた。